

高野七口と参詣道



unesco
World Heritage Site
世界遺産・紀伊山地の霊場と参詣道の構成遺産である参詣道

弘法大師空海入定以来、大師信仰の広まりとともに、人々の参拝が盛んになり、高野山に通じる七つの道が高野七口と呼ばれました。
明治5年(1872)まで高野山は女人禁制であったため、女性は高野山に入らず、七口の各入口にはお籠り堂として女人堂が建てられていました。
七つの女人堂を結ぶ道は女人道と言われ、八葉蓮華の峰々をめぐるながら、女性たちは大師御廟に手を合わせたと言われていました。

旅のお問い合わせは

- 橋本・伊都広域観光協議会事務局 (伊都振興局企画産業課) TEL.0736-33-4909
- 橋本市シティプロモーション課 TEL.0736-33-6106
- (一社) 高野山麓ツーリズムビューロー TEL.0736-26-7988
- はしもと広域観光案内所 TEL.0736-33-3552
- かつらぎ町産業観光課・観光協会 TEL.0736-22-0300
- 九度山町産業振興課・観光協会 TEL.0736-54-2019
- 高野町観光振興課 TEL.0736-56-2780
- (一社) 高野町観光協会 TEL.0736-56-2468
- (一社) 高野山宿坊協会 TEL.0736-56-2616
- 五條市観光振興課 TEL.0747-22-4001
- 野迫川村産業課 TEL.0747-37-2101
- 和歌山県観光振興課 TEL.073-441-2424

R5年9月改訂
●当マップは下記ホームページでご覧いただけます。
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130300/nanakuchi.html>

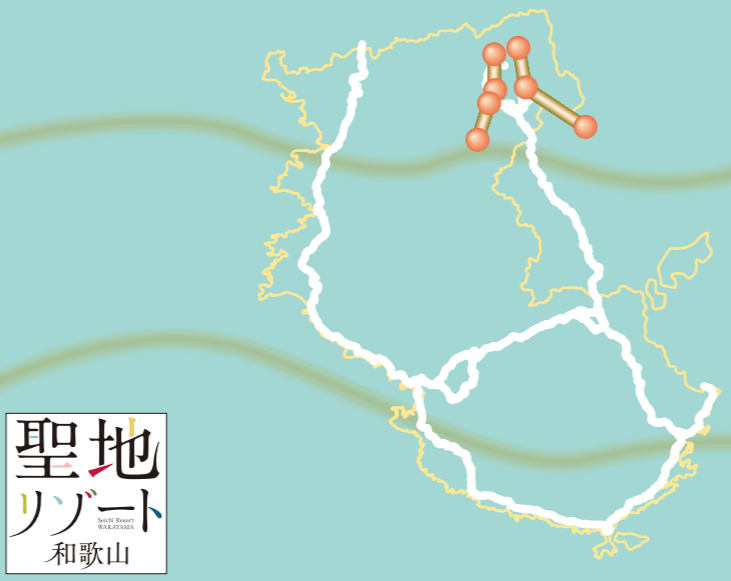
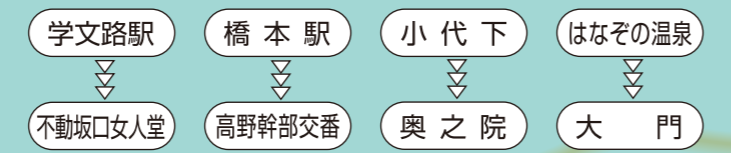


紀州路を歩く・紀州路を楽しむ

和歌山県街道マップ

高野七口

京大坂道・黒河道・大峰道・有田龍神道・相ノ浦道



弘法

大師空海は、史実では嵯峨天皇より、伝承では丹生都比売大神より高野山を賜り、弘仁7年(816年)に、真言密教の根本道場として、その開創に着手されました。

以降1200年もの間、高野山は人々の信仰を集め、高野山に至る道は、その歴史や交通手段の変遷とともに、発達・衰退を経てきました。「高野七口」と呼ばれる高野山への7つの街道の発達は、さまざまな方面から人々が高野山を目指した証しです。
うち高野参詣道町石道、熊野参詣道小辺路の2つは、平成16年、「紀伊山地の霊場と参詣道」として、世界文化遺産に登録され、続いて平成28年に京大坂道不動坂、黒河道、三谷坂、女人道が追加登録されています。ここでは、現在でもその形を留める、その他の参詣道も含めてご紹介します。
いにしえ人が、一步一步自分の足で高野山をめざした気持ちを想像しながら、今一度高野山へのさまざまな道りを徒歩で体感してみたいかがでしようか。

ルートその1【P4へ】 京大坂道

京都府八幡市からの東高野街道と、大阪市平野からの中高野街道、堺市からの西高野街道とが、河内長野市までに交わり、高野山にいたる参詣道です。
この街道は、江戸時代になると、圧倒的に利用者が多くなり、旅籠や茶屋で賑わうようになりました。堺市から不動坂口女人堂まで約一里(4km)ごとに里石(道標)が13基建っています。
沿道には、石童丸の物語で知られる学文路刈萱堂や、河根にある大師の覗水、日本最後の仇討ちがあったことで知られる神谷の黒岩などの旧跡があり、高野山へ行き交う人々の物語がうかがえます。
高野山内への各入口には女人堂が建ち、かつてはここから女性の高野入山は許されませんでした。高野七口と呼ばれる高野山への7つの入口にはそれぞれ女人堂があり、現在唯一残されているのが、ここ不動坂口女人堂です。女人堂まで登ってきた女性たちは、女人堂に籠ったり、あるいは、女人道をたどり、山内を遥拝したと伝えられています。



一里石



垣内大師石像

ルートその3【P12へ】 大峰道

大峰口は、高野山の東の入り口であることから東口、あるいはふもとの土地の名から野川口とも呼ばれています。一説によると、弘法大師

※当マップでは、上記の街道のうち、1日が高野山まで散策できる区間をご紹介します。

ルートその2【P8へ】 黒河道

橋本市の賢堂を起点として国城山の東の峠を越え、九度山町の丹生川を渡り、市平、久保から高野山に至る古道です。大和国(奈良県)からの参詣者が利用したことから大和口とも呼ばれました。高野山の表玄関である町石道より東に位置する事から、橋本や大和方面からの利便性が高かったとも言えます。一方、高野山や周辺集落の生活道としても重要な役割を果たしてきました。
この道は高野山への最短ルートですが、アップダウンが激しく、近代の交通路からははずれたため、古道や周りの景観が良く残され、多くの魅力を秘めています。
文禄3年(1594)高野山において、太閤秀吉は山内禁令の能狂言を催しましたが、急な雷雨を大師の怒りと感じ、黒河道を馬で駆け下ったと謂う記録もあります。全行程の中で、3つの峠越えと、起伏の激しい所もありますが人工林や雑木林、溪流など変化に富む景観も魅力のある健脚者向きのコースです。



大峰道石柱

ルートその4【P14へ】 有田・龍神道

「龍神道」は、熊野参詣道「中辺路」から北へ分岐し、龍神温泉を経て、南側から高野山を

空海はここから初めて高野山に入ったともいわれ、途中には野川弁財天をはじめ弘法大師空海にちなむ伝説がいくつも残されています。この大峰口を通じて高野山と吉野・大峯とを結ぶ高野大峰道は、「すすかけの道」とも呼ばれ、修験者や巡礼者の往来で昭和の初め頃まで大いに賑わっていました。
今でも道沿いには往時を偲ばせる集落や旅館跡などの建物が数多く残り、古街道の面影を訪ねながら山歩きも楽しめる貴重なウォーキングルートとなっています。

また、野川弁財天の側には高野豆腐伝承館があり、天然の高野豆腐の生産地として栄えた当時の味を味わうこともできます。



今井集落



大峰道石柱

ルートその5【P15へ】 相ノ浦道

高野嶺の産地として知られる高野町相ノ浦地区と高野山を結ぶ街道で、高野七口のうちの、最も利用が少なかったと言われます。江戸時代以前から近隣の物資輸送ルートとして利用されましたが、近年では、林内道としてその形を留めています。

古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ(弁当からや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。



不動坂口女人堂

目指す街道で、有田郡有田川町からの「有田街道」と辻ノ茶屋で合流し高野山へ至ります。合流点の辻ノ茶屋には昭和28年の水害後まで茶屋があり、高野参りの休憩所として利用されていました。また、龍神道の新子には4軒の宿屋があって龍神温泉の入浴客や大峯山参りの客で賑わっていました。

現在は、民家もあまり見られず、緑の森の中、山に吹く風や降り注ぐ太陽の光に照らされ自然に触れながら散策ができます。途中、防災ヘリポート付近で西方に見える天狗岳には、昔、天狗がこの山の岩穴に住んでいて高野の弁天岳と往来していたという伝説があります。

高野山への入口の龍神口近くにお助け地蔵があり、お地蔵さまは、癒れた旅人を導き、癒してくれることでしょう。境内から眺める夕陽は絶景で、日本の夕陽百選にも選ばれました。



お助け地蔵

ルートその4【P14へ】 有田・龍神道

「龍神道」は、熊野参詣道「中辺路」から北へ分岐し、龍神温泉を経て、南側から高野山を

和歌山県街道マップのご利用にあたって

- この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて触れていただくことを目的に製作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご活用ください。
- 「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ(<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>)の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」でご覧いただけます。
- 登山届について
万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。詳細は和歌山県警察 HP をご確認ください。
・問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課【TEL】073-423-0110



高野七口マップ

- 京大坂道(学文路駅~不動坂口女人堂)
- 黒河道(橋本駅~高野幹部交番)
- 大峰道(小代下~奥之院)
- 相ノ浦道
- 有田・龍神道(はなその温泉~大門・龍神口)
- 町石道・三谷坂(別冊)
- 熊野古道小辺路(別冊)

京大坂道(学文路駅~不動坂口女人堂)
▶ P4,P5,P6,P7

黒河道(橋本駅~高野幹部交番)
▶ P8,P9,P10,P11

大峰道(小代下~奥之院)
▶ P12,P13

有田・龍神道(はなその温泉~大門・龍神口)
▶ P14

相ノ浦道
P15

登山アプリ「YAMAP」では、和歌山県街道マップの各コースについて、地図データが利用できます。
アプリのダウンロードは右のQRコードから▶



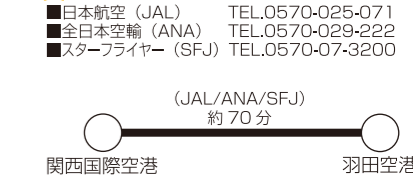
高野七口アクセスガイド



電車



空路

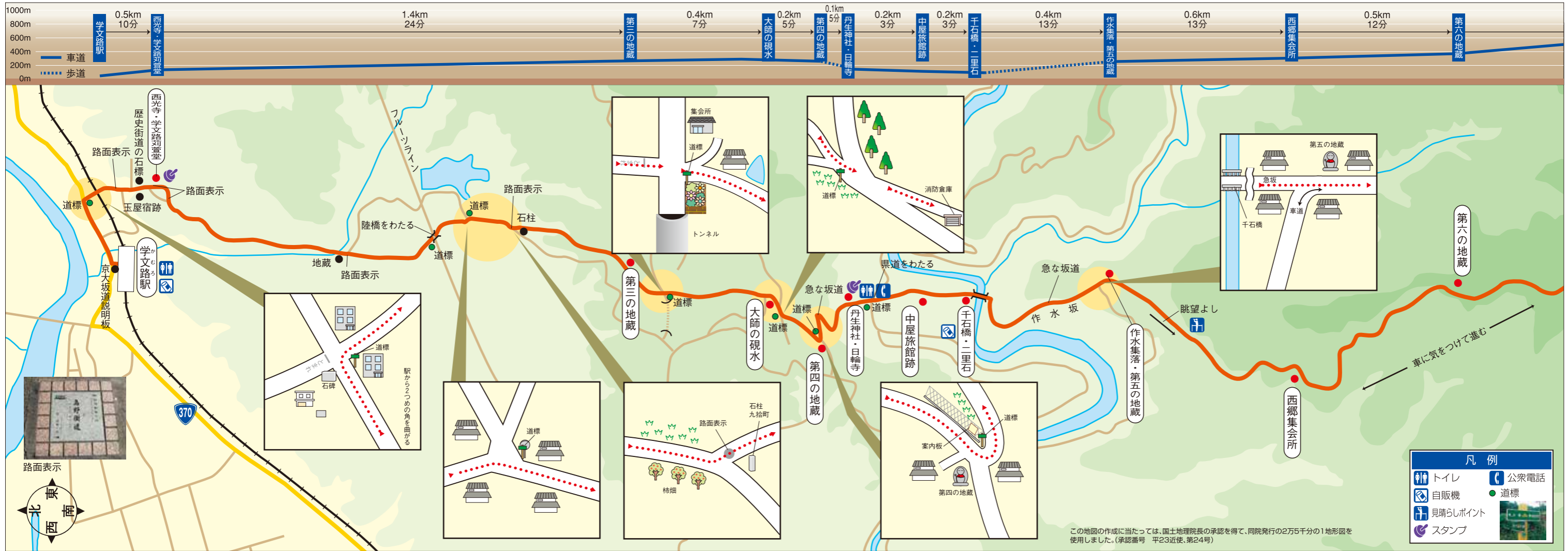


高野参詣道京大坂道 学文路駅(橋本市)～不動坂口女人堂(高野町) ①

歩行距離 9.5km
標準歩行時間 3時間26分
標準所要時間 4時間57分

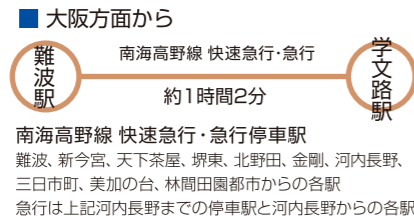
京都府八幡市・大阪市・堺市から東・中・西高野街道が河内長野市までに合流し、紀見峠を越えて和歌山県に入り、学文路駅から宿場跡をたどりながら不動坂口女人堂へ至る京大坂道。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、南海高野線「難波駅」を起点に高野山極楽橋行き快速急行または急行を利用して「学文路駅」へ。
JR和歌山線をご利用の場合は、橋本駅から南海高野線にて「学文路駅」へ。



六地藏

江戸時代に京大坂道の参詣者の安全登山を祈って作られた六地藏であり、今も子安地藏として信仰されています。六地藏の第1の地藏は橋本市清水地区、第2の地藏は橋本市南馬場地区、第3の地藏は九度山町繁野地区、第4の地藏は九度山町河根地区、第5の地藏は高野町作水地区、第6の地藏は高野町桜茶屋地区にあります。

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

学文路駅	西光寺・学文路苺萱堂	丹生神社・日輪寺	第五の地藏	第六の地藏	極楽橋	不動坂口女人堂
10:02	10:12	10:30	11:11	11:25	11:44	12:00
(休憩)						
・ 第六の地藏 ・ 極楽橋 ・ 不動坂口女人堂 (到着後、徒歩にて高野山内を散策。宿坊で宿泊)						
12:25	13:00	13:57	14:05	14:59		
(昼食・休憩)		(休憩)				

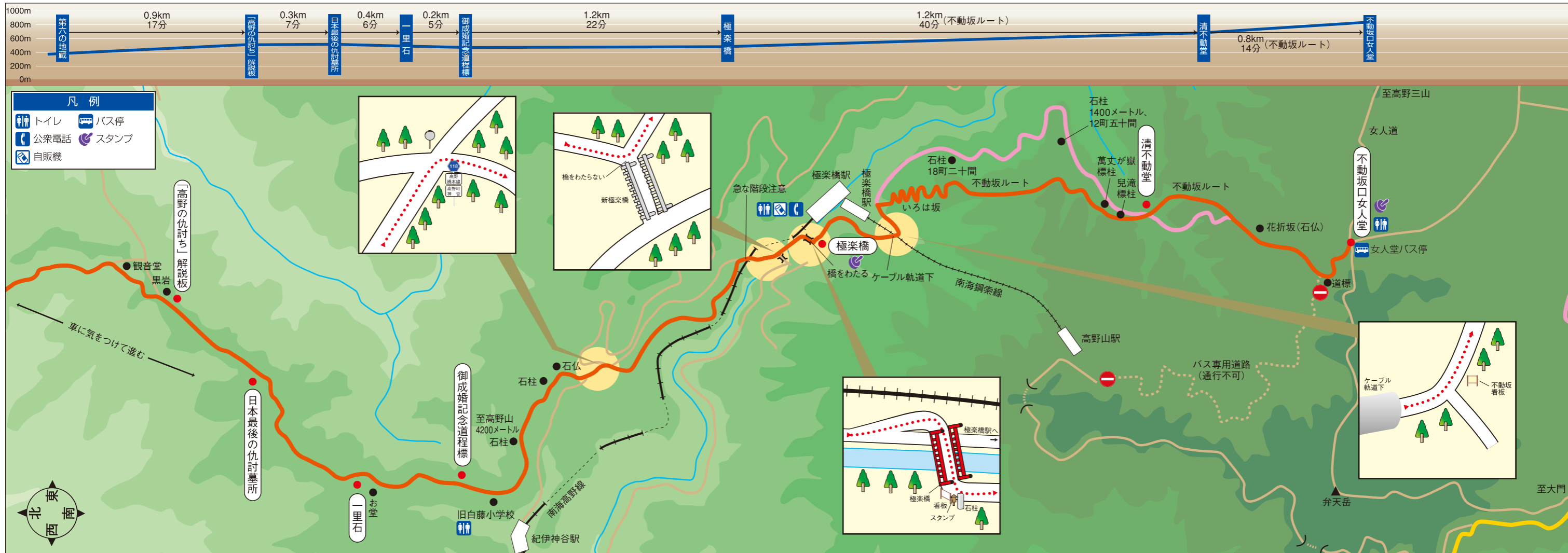
・当地には、携帯電話の不通区間がございますので留意下さい。
・獣類の出没、冬期には積雪情報に充分ご注意下さい。

高野参詣道京大坂道 学文路駅(橋本市)～不動坂口女人堂(高野町) ②

歩行距離 9.5km
標準歩行時間 3時間26分
標準所要時間 4時間57分

当ルートのご案内(ガイド)についてのお問い合わせは、高野町観光振興課 ☎0736-56-2780
九度山町観光協会 ☎0736-54-2019 はしもと広域観光案内所 ☎0736-33-3552

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



日本最後の「高野の仇討ち」

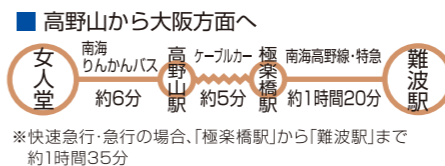
文久2年(1862)に播州赤穂藩においてお家騒動があったことが発端となって、明治4年(1871)2月30日(旧暦)に高野山の近くの宿場である神谷の黒岩付近で仇討ちがありました。この事件から2年後の明治6年(1873)に政府から「復讐禁止令」が出されて仇討ちは禁止となったことから、「日本最後の仇討ち」とされています。討たれた7名は地元の村人によって「殉難七士の墓」として解説板の先の墓所にお祀りされています。

不動坂

現在の極楽橋から不動坂口女人堂までは、高野山開創1100年を期に、大正時代に改修が行われ、幅員・ルートともに大幅に変更されたルート(ピンク色)と、難所であった「いろは坂」を通るルート(赤色)があります。

お帰りは

不動坂口女人堂到着後は、南海りんかんバス「女人堂」バス停より「高野山駅」へ。「高野山駅」からは、ケーブルカーを利用して「極楽橋駅」へ。「極楽橋駅」より南海高野線を利用してお帰り下さい。



ひとくちメモ

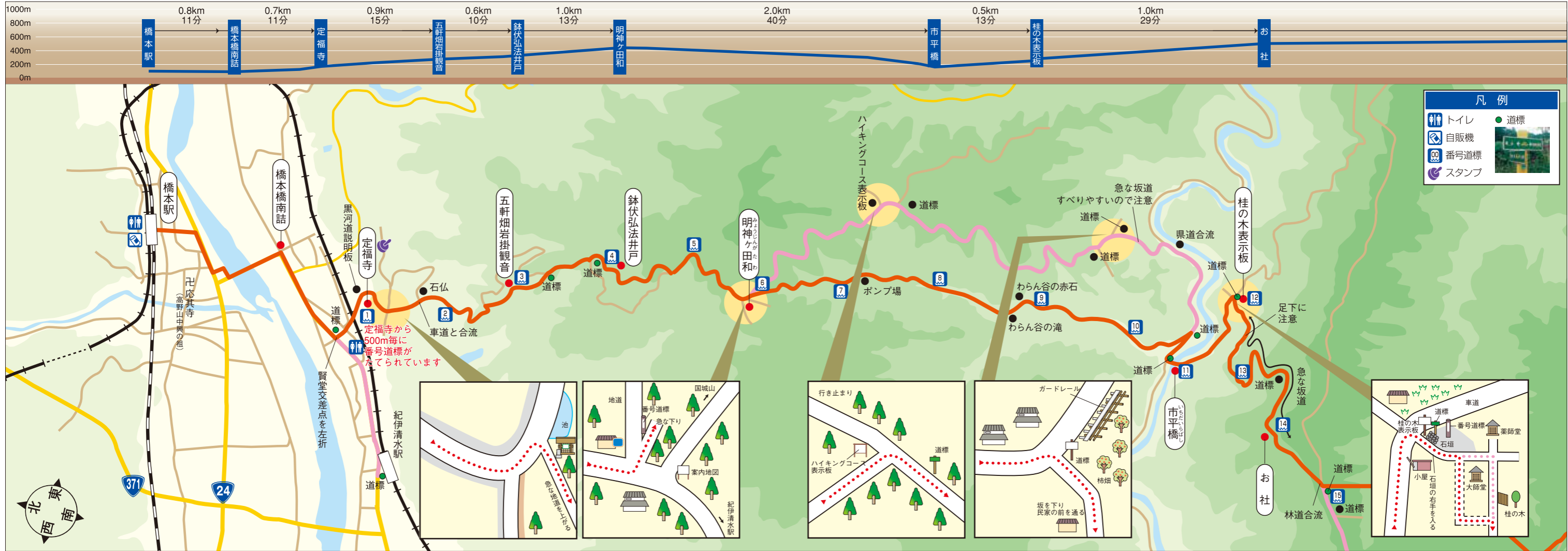
高野山内は、点在する見所を、時間をかけてじっくり歩きたいものです。散策した日は、宿坊で宿泊のうえ、朝から参拝し歩いた方が、より高野山の奥深さを味わっていただけることでしょう。
山内では、現在51カ寺が宿坊寺院としてご利用いただけます。それぞれに特色があり、美しいお庭の鑑賞、修行僧が配膳してくれる精進料理、本堂での早朝勤行など、日常とは異なった時間をお過ごしいただけることでしょう。
お問い合わせ：(一社)高野山宿坊協会 TEL.0736-56-2616

【高野参詣道黒河道 橋本駅(橋本市)～高野幹部交番(高野町)】①

歩行距離 18.1km
標準歩行時間 5時間44分
標準所要時間 7時間35分

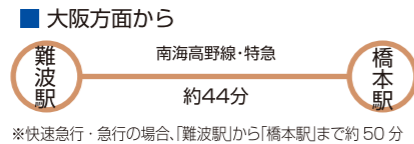
橋本市からほぼ真南に高野山をめざす健脚ルート。
いくつかの集落・集落跡を通り、峠越えを重ねて高野山をめざします。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、南海高野線「難波駅」を起点に特急、快速急行又は急行にて「橋本駅」へ。または、JR和歌山線で「橋本駅」へ。



南海高野線 特急こうや停車駅
難波、新今宮、天下茶屋、堺東、金剛、河内長野、林間田園都市、橋本、樫原橋

南海高野線 快速急行・急行停車駅
難波、新今宮、天下茶屋、堺東、北野田、金剛、河内長野、三日市町、美加の台、林間田園都市からの各駅

急行は上記河内長野までの停車駅と河内長野からの各駅

桂の木

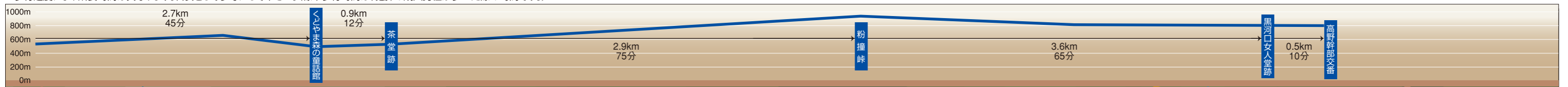
市平集落の氏神社「春日神社」に、九度山町指定文化財の「桂の木」があります。カツラ科の雌株一本で、樹高35m、胸高直径1.1m、根の回り約8m、樹齢推定で300年以上の大木。明治初期の頃、この付近に18本のカツラの木が林立し、荘厳な景観を誇っていました。この木の特徴は、四季おりおり葉の色が七色に変わり、近郷住民は農耕暦の尺度として、この木を大切に守り育ててきたと伝えられています。

【高野参詣道黒河道 橋本駅(橋本市)～高野幹部交番(高野町)】②

歩行距離 18.1km
標準歩行時間 5時間44分
標準所要時間 7時間35分

当ルートのご案内(ガイド)についてのお問い合わせは、高野町観光振興課 ☎0736-56-2780
はしもと広域観光案内所 ☎0736-33-3552 九度山町観光協会 ☎0736-54-2019

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



ひとくちメモ

高野山内は、点在する見所を、時間をかけてじっくり歩きたいものです。散策した日は、宿坊で宿泊のうえ、朝から参拝し歩いた方が、より高野山の奥深さを味わっていただけることでしょう。

山内では、現在51カ寺が宿坊寺院としてご利用いただけます。それぞれに特色があり、美しいお庭の鑑賞、修行僧が配膳してくれる精進料理、本堂での早朝勤行など、日常とは異なった時間をお過ごしいただけることでしょう。

お問い合わせ：(一社)高野山宿坊協会 TEL.0736-56-2616

凡例

- トイレ
- 公衆電話
- 自販機
- 土産販売所
- バス停
- 番号道標
- スタンプ
- 道標



標準の歩行記録 (参考行程：見学時間等を含む)

橋本駅	定福寺	明神ヶ田和	市平橋	桂の木表示板	お社
9:00	9:22	9:30	10:08	10:20	11:00
	(休憩)	(休憩)	(休憩)	(桂の木付近で昼食)	(休憩)
11:15	11:28	12:00	12:29	12:40	
・くどやま森の童話館	・茶堂跡	・粉撞峠	・黒河口女人堂跡	・高野幹部交番	
13:25	13:35	13:47	13:55	15:10	15:20
(休憩)	(休憩)	(休憩)	(休憩)		

当ルートは、途中民家のない区間が多くゴール直前まで山間部となりますので余裕をもってご出発ください。・当地には、携帯電話の不通区間がございますのでご留意下さい。・獣類の出没、冬期には積雪情報に充分ご注意下さい。

粉撞地蔵

久保からまっすぐに南の粉撞峠を目指した道と、大きく東へふって旧黒河村を経由する道がありました。

粉撞峠に祀られている粉撞地蔵は、室町時代(1512年)に金剛峯寺座主の建立したものと確認され、高野山の結界を示す道標であったと見られています。

お帰りは

南海りんかんバス「高野警察前」バス停より「高野山駅」へ。
「高野山駅」からは、ケーブルカーを利用して「極楽橋駅」へ。「極楽橋駅」より南海高野線を利用してお帰り下さい。

高野山から大阪方面へ
高野警察前 約9分
高野山駅 約5分
極楽橋駅 約1時間20分
難波駅

※快速急行・急行の場合、「極楽橋駅」から「難波駅」まで約1時間35分

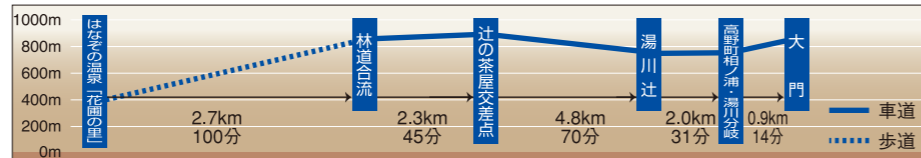


【有田・龍神道 はなその温泉「花圃の里」(かつらぎ町)～大門・龍神口(高野町)】

歩行距離 12.7km
標準歩行時間 4時間20分
標準所要時間 5時間05分

かつては、護摩壇山・龍神温泉を経て中辺路に通じた、奥辺路とも称された街道。眺望を楽しみながら、大門をめざします。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

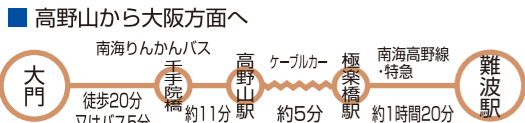
大阪方面からは、南海高野線「難波駅」を起点に特急、快速急行又は急行にて「橋本駅」でJR和歌山線に乗り換え、「JR笠田駅」駅前より、かつらぎ町コミュニティバス「新城・花圃コース」へ乗車、終点「花圃」バス停で下車してください。



※快速急行・急行の場合、「難波駅」から「橋本駅」まで約50分
南海高野線 特急こうや停車駅
難波、新今宮、天下茶屋、堺東、金剛、河内長野、林間田園都市、橋本、極楽橋
南海高野線 快速急行・急行停車駅
難波、新今宮、天下茶屋、堺東、北野田、金剛、河内長野、三日月町、美加の台、林間田園都市からの各駅
急行は上記河内長野までの停車駅と河内長野からの各駅

お帰りは

大門到着後は、徒歩または南海りんかんバス「大門」バス停からバスにて「高野山駅」へ。または千手院橋方向へ移動。「千手院橋」バス停から、「高野山駅」へ。「高野山駅」からはケーブルカーを利用して「極楽橋駅」へ。「極楽橋駅」より南海高野線を利用してお帰り下さい。



※快速急行・急行の場合、「極楽橋駅」から「難波駅」まで約1時間35分

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

はなその温泉「花圃の里」	9:30	林道合流	11:10	11:20
			(休憩)	
辻ノ茶屋交差点	12:05	湯川辻	12:30	13:40
	(昼食・休憩)		(休憩)	
高野町相ノ浦湯川分岐	14:21	龍神口・大門	14:35	
	(到着後、徒歩にて高野山内を散策)			

・当地には、携帯電話の不通区間がございますのでご注意ください。
・獣類の出没、冬期には積雪情報に充分ご注意ください。

当ルートは、「高野山龍神口のみち」として
近畿自然歩道に指定されています。

【相ノ浦道】

高野山霊宝館の東側を南下し、女人道上の相ノ浦口を通過して高野町相ノ浦地区に至るルートです。

【高野山内マップ】

